

検討状況確認表

青色の部分：前回のご意見等であり、確認をしていただきたい項目。

赤色の部分：議論を深めていただきたい項目。下線部は特にご意見をいただきたい項目。

u003c/divu003e

検討状況確認表

項目	現計画（学校の適正規模・適切配置、課程・学科の適切配置）	検討委員会のご意見等（◆：ご意見等、▼：まとめとされた意見等、▽：▼に関連する意見等）
県立高等学校について 全日制課程について 普通科系	<p>H26 再編振興計画 〈適正規模〉 1 学年 4 学級以上（上限 8 学級）、高知市及びその周辺地域： 1 学年 6 学級以上 〈本校の最低規模〉 本校の最低規模は 1 学年 2 学級以上 過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校： 1 学年 1 学級以上 不登校や発達障害等柔軟な対応が必要な学校： 1 学年 1 学級以上 ※教育の質を維持していくための集団としては少なくとも 1 学級 20 人以上が必要。 〈分校の最低規模〉 1 学年 1 学級 20 人以上が少なくとも必要</p> <p>H30 再編振興計画後期計画 〈本校の最低規模の特例校〉 過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校であり、特例として 1 学年 1 学級（20 人以上）を最低規模とする。不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として 1 学年 1 学級（20 人以上）を最低規模とする。</p>	<p>【適正規模・最低規模】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 実態からみても適正規模や最低規模は設定しなくともよいのではないか。 ▼ 過疎化が著しい地域の学校は、地域振興のためにも学校が必要ではないか。 ▼ 教育の質を担保することや、集団における社会性の育成など高校で育まれる能力育成のため、目標値としての学級数（人数）を設定する必要はあるのではないか。1 学年 1 学級（20 人）以上、分校は 1 学年 1 学級（10 人）程度を望ましい学級数（生徒数）としてはどうか。 ▽ 最低規模に満たない学校が増え、今後少子化によりさらに増える可能性がある。 ▽ 望ましいという数字であれば柔らかいものになる。 ▽ ICT は、単にコンテンツを配信するだけでなく、他校の生徒と切磋琢磨する環境が作れる。小規模であっても教育効果をあげられる可能性は十分にあり、従来とは学校規模の考え方が変わってきて良い。 <p>【取組の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。 ◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。
	<p>卒業後の多様な進路選択の保障と地域を担う人材の育成という観点から、県全体のバランスを考慮した適切な配置に努める。難関大学や医学部等への進学も実現できる進学拠点校を県全体のバランスも考慮しながら配置する。連携型中高一貫教育校については、地域の学校の状況等も踏まえながら、現在設置されていない地域への配置も検討する。併設型中高一貫教育校については、東部、中央部、西部の 3 地域での配置を維持する。</p>	<p>【普通科の在り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 普通科がより魅力的なものになるように学校の改革が必要ではないか。 ◆ 特に高知市以外で普通科が定員を満たせず、高知市に流れてしまっている。対応するためには、地域との繋がりを持った何か尖ったものがないといけない。 ◆ 中学生は普通科と総合学科の違いがはっきり分かっていない。高校に行けば何とかなるという感覚で選んでいるのではないか。 <p>【遠隔教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ICT は、単にコンテンツを配信するだけでなく、他校の生徒と切磋琢磨する環境が作れる。 ◆ ICT の普及により、小規模であっても教育効果をあげられる可能性は十分にあり、従来とは学校規模の考え方が変わってきて良い。 ◆ 子ども達と先生の繋がりを大事にしながら進んでいくと良い。 <p>【地域等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高校を地域と一緒にブランディングしていくことが必要。 ◆ 小中学校と地域を巻き込んだ活動が必要。 ◆ 普通科で広く勉強することがあまりメリットになっておらず、普通科の議論も非常に重要。 ◆ 多様性を認めることができる新しい学校を創ってもらえたらという意見もある。 <p>【地域みらい留学等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 少しずつ高知県を PR しながら、県外からの志願者を増やしてほしい。

1

項目	現計画（学校の適正規模・適切配置、課程・学科の適切配置）	検討委員会のご意見等（◆：意見等、▼：まとめとされた意見等、▽：▼に関連する意見等）
<p>県立高等学校について</p> <p>全日制課程</p> <p>産業系専門学科</p>	<p>本県の産業を担う人材の育成及び産業振興のため、現状の学校の配置を維持することに努める。ただし、生徒数の減少等により、現在の配置が維持できない場合には、他の高等学校との統合による複数学科の併置も含め、県全体のバランスを考えた計画的な改編を実施する。</p> <p>産業系高等学校の専門学科や普通科高等学校で産業系科目を設置しているコースにおいては、各校の活性化と教育内容の充実、適切な定員管理の実施に向けて、入学者数の状況や生徒のニーズ、産業構造の変化や就業形態の多様化などの社会環境の変化も見据えうえて、随時、設置科やコースについての見直しを進める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【統合・学科改編】</p> <p>H29：須崎工業高校の4学科を3学科に学科改編</p> <p>H30：安芸桜ヶ丘高校環境エネルギー科を募集停止</p> <p>H31：須崎工業高校と須崎高校を、須崎総合高校に統合</p> <p>R3：山田高校商業科をビジネス探究科に学科改編</p> <p>R4：安芸桜ヶ丘高校環境建築科を機械土木科に、情報ビジネス科をビジネス科にそれぞれ学科改編</p> <p>R5：安芸高校と安芸桜ヶ丘高校を、安芸高校に統合</p> </div>	<p>【適切配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高知海洋高校は、室戸岬水産高校、高岡高校宇佐分校、清水高校漁業科を統合し、県内唯一の水産高校となった経緯がある。高知県の産業を維持するためにも必要な役割を持っている。看護科も同様である。 ◆ 工業や農業等は学科の見直しを行うことも必要かもしれない。 <p>【地域等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 県内の産業について興味を持ち、それを目指した子ども達の育成が必要。 ◆ 県内の産業の充実と日本語を母語としない生徒への支援等の取組が必要。
	<p>総合学科は、生徒が興味関心に応じて系列を選択することで多様な進路希望に対応できるという特色を生かすために、現在の各地域での配置を維持することに努める。ただし、生徒数の減少等により、学校によって複数の系列を置くことが困難な場合には、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【統合・学科改編等】</p> <p>H29：須崎高校の総合学科を普通科に学科改編</p> <p>H31：須崎工業高校と須崎高校を、須崎総合高校に統合</p> <p>室戸高校</p> <p>地域からは多様な進路希望に応じた教育を選択することができる総合学科の取組に対する評価は高いことから、現計画期間中は総合学科を維持し、地域の特色を生かした教育プログラムの推進、更なる地元中学校との連携に取り組むこととする。</p> </div>	
<p>定時制・通信制課程について</p>	<p><u>〈夜間の最低規模〉</u> 学校全体の生徒数 20 人以上</p> <p><u>〈昼間の最低規模〉</u> 1 学年 1 学級 20 人以上</p> <p>定時制は、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒に柔軟に対応するため、各地域での定時制課程の維持に努める。ただし、生徒数の減少に伴い統廃合を検討する場合は、学校の役割や地域の実態、学科の内容、通学手段なども考慮した配置を検討する。多部制単位制は、生徒数の減少によって多部制の機能を十分に果たせない状況になった場合は、その在り方について見直しを検討する。</p> <p>通信制は、生徒のニーズに対応するため、現在の中央部と西部の2校の配置を維持するとともに、東部の生徒のニーズに対応するために通信制と定時制の併修の在り方を検討する。</p>	<p>【適切配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定時制と通信制とを組み合わせ、多様な学び（高度で専門的な学習、学び直し、ギフトドや不登校生徒等への対応等）を提供できる学校が必要ではないか。 <p>【魅力化・特色化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ネガティブなイメージではなく、ポジティブに学べることをアピールしていくことが重要ではないか。 ◆ 働きながら学ぶという位置付けの転換や逆転の発想が必要ではないか。 ◆ 公立高等学校のシステムを見直し、生徒から選んでもらえるものにしていくことが必要ではないか。 <p>【ICT活用等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定時制・通信制は、高校の学びの最後の砦であり大事である。 ◆ ICTを活用し、学びやすい環境をつくるべきである。 ◆ ICTの画面へ出るだけでも難しい子どももいる。単にICTで繋がるだけではなく、気持ちと気持ちが繋がる人と繋がっていききたい生徒もいる。 <p>【取組の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。 ◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。

項目		現状と課題 (○：現状、●：課題)		検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)															
				適正規模・最低規模															
県立高等学校について	全日制課程について	○ 全日制高等学校：31校 (うち併設型中高一貫教育校3校、連携型中高一貫教育校4校)																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>北部</th> <th>高吾</th> <th>幡多</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2校</td> <td>15校</td> <td>2校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> </tr> </tbody> </table>	東部	中部	北部	高吾	幡多	2校	15校	2校	5校	7校							
東部	中部	北部	高吾	幡多															
2校	15校	2校	5校	7校															
		○ 公立私立高等学校全日制の生徒数にみる各学科の割合 (R5年度高校1年生) (%)																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>普通科</th> <th>産業系専門学科</th> <th>産業系専門学科以外の専門学科</th> <th>総合学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知県</td> <td>64.3</td> <td>24.8</td> <td>2.3</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>74.0</td> <td>17.1</td> <td>3.7</td> <td>5.2</td> </tr> </tbody> </table>	学科	普通科	産業系専門学科	産業系専門学科以外の専門学科	総合学科	高知県	64.3	24.8	2.3	8.5	全国	74.0	17.1	3.7	5.2		
学科	普通科	産業系専門学科	産業系専門学科以外の専門学科	総合学科															
高知県	64.3	24.8	2.3	8.5															
全国	74.0	17.1	3.7	5.2															
		※端数処理のため、100%にならないことがある。																	
		○ 現計画の適正規模・最低規模等の要件を満たしていない学校がある																	
		適正規模：1学年4～8学級 最低規模：全日制1学年2学級以上 全日制1学年1学級(20人)以上※																	
		※本校の特例校及び分校：過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校 不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を備えた学校																	
		・最低規模を下回る学校：城山、嶺北、吾北分校、高岡、高知海洋、佐川、窪川、大方、西土佐分校、清水																	
		・特例校規模(1学年20人)を下回る学校：吾北分校、西土佐分校																	
		・本県全日制の適正規模、最低規模に関する考え方																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全日制</th> </tr> <tr> <th>本校</th> <th>分校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26 再編振興計画</td> <td> <p>〈適正規模〉</p> <p>・1学年4学級以上(上限8学級)、高知市及びその周辺地域：1学年6学級以上</p> <p>生徒の個性や進路希望などが多様化する状況に対応し、習熟度別の学習指導や総合選択制を取り入れた教育課程の編成などきめ細かい指導ができる体制を確保するため。</p> <p>また、一定の生徒数の確保が見込まれる高知市及びその周辺地域については、生徒の個性・能力や進路希望等に対応した類型を設けるなど多様な教育課程の編成が可能であり、特別活動や部活動においても切磋琢磨し、より活気あふれる学校づくりができる1学年6学級以上の学校規模の維持に努める必要がある。</p> <p>〈最低規模〉</p> <p>・本校の最低規模は1学年2学級以上</p> <p>高等学校としての教育の質を確保するためには、生徒の多様な学習ニーズに応え、集団活動による社会性の育成を図ることが大切である。</p> <p>過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校：1学年1学級以上</p> <p>不登校や発達障害等柔軟な対応が必要な学校：1学年1学級以上</p> <p>※教育の質を維持していくための集団としては少なくとも1学級20人以上が必要。</p> </td> <td> <p>〈最低規模〉</p> <p>・1学年1学級20人以上が少なくとも必要</p> <p>高等学校としての教育の質を維持していくため。</p> <p>猶予期間を2年連続して20人を満たない状況となった場合に緩和</p> </td> </tr> <tr> <td>H30 再編振興計画後期実施計画</td> <td> <p>〈本校の最低規模の特例校〉</p> <p>過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p> <p>不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p> </td> <td> <p>基準としては尊重するが、分校は小規模ということが前提となっていることから、本校との連携、分校としての活性化策、地域からの支援を含め、本計画期間中はその取組の成果を検証しながら、基本的に継続する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			全日制		本校	分校	H26 再編振興計画	<p>〈適正規模〉</p> <p>・1学年4学級以上(上限8学級)、高知市及びその周辺地域：1学年6学級以上</p> <p>生徒の個性や進路希望などが多様化する状況に対応し、習熟度別の学習指導や総合選択制を取り入れた教育課程の編成などきめ細かい指導ができる体制を確保するため。</p> <p>また、一定の生徒数の確保が見込まれる高知市及びその周辺地域については、生徒の個性・能力や進路希望等に対応した類型を設けるなど多様な教育課程の編成が可能であり、特別活動や部活動においても切磋琢磨し、より活気あふれる学校づくりができる1学年6学級以上の学校規模の維持に努める必要がある。</p> <p>〈最低規模〉</p> <p>・本校の最低規模は1学年2学級以上</p> <p>高等学校としての教育の質を確保するためには、生徒の多様な学習ニーズに応え、集団活動による社会性の育成を図ることが大切である。</p> <p>過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校：1学年1学級以上</p> <p>不登校や発達障害等柔軟な対応が必要な学校：1学年1学級以上</p> <p>※教育の質を維持していくための集団としては少なくとも1学級20人以上が必要。</p>	<p>〈最低規模〉</p> <p>・1学年1学級20人以上が少なくとも必要</p> <p>高等学校としての教育の質を維持していくため。</p> <p>猶予期間を2年連続して20人を満たない状況となった場合に緩和</p>	H30 再編振興計画後期実施計画	<p>〈本校の最低規模の特例校〉</p> <p>過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p> <p>不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p>	<p>基準としては尊重するが、分校は小規模ということが前提となっていることから、本校との連携、分校としての活性化策、地域からの支援を含め、本計画期間中はその取組の成果を検証しながら、基本的に継続する。</p>					
	全日制																		
	本校	分校																	
H26 再編振興計画	<p>〈適正規模〉</p> <p>・1学年4学級以上(上限8学級)、高知市及びその周辺地域：1学年6学級以上</p> <p>生徒の個性や進路希望などが多様化する状況に対応し、習熟度別の学習指導や総合選択制を取り入れた教育課程の編成などきめ細かい指導ができる体制を確保するため。</p> <p>また、一定の生徒数の確保が見込まれる高知市及びその周辺地域については、生徒の個性・能力や進路希望等に対応した類型を設けるなど多様な教育課程の編成が可能であり、特別活動や部活動においても切磋琢磨し、より活気あふれる学校づくりができる1学年6学級以上の学校規模の維持に努める必要がある。</p> <p>〈最低規模〉</p> <p>・本校の最低規模は1学年2学級以上</p> <p>高等学校としての教育の質を確保するためには、生徒の多様な学習ニーズに応え、集団活動による社会性の育成を図ることが大切である。</p> <p>過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校：1学年1学級以上</p> <p>不登校や発達障害等柔軟な対応が必要な学校：1学年1学級以上</p> <p>※教育の質を維持していくための集団としては少なくとも1学級20人以上が必要。</p>	<p>〈最低規模〉</p> <p>・1学年1学級20人以上が少なくとも必要</p> <p>高等学校としての教育の質を維持していくため。</p> <p>猶予期間を2年連続して20人を満たない状況となった場合に緩和</p>																	
H30 再編振興計画後期実施計画	<p>〈本校の最低規模の特例校〉</p> <p>過疎化が著しく、近隣に他の高等学校がない学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p> <p>不登校経験者や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として1学年1学級(20人以上)を最低規模とする。</p>	<p>基準としては尊重するが、分校は小規模ということが前提となっていることから、本校との連携、分校としての活性化策、地域からの支援を含め、本計画期間中はその取組の成果を検証しながら、基本的に継続する。</p>																	
				<p>◇ 実態からみても適正規模や最低規模は設定しなくともよいのではないか。</p> <p>◇ 過疎化が著しい地域の学校は、地域振興のためにも学校が必要ではないか。</p> <p>◇ 教育の質を担保することや、集団における社会性の育成など高校で育まれる能力育成のため、目標値としての学級数(人数)を設定する必要はあるのではないか。1学年1学級(20人)以上、分校は1学年1学級(10人)程度を望ましい学級数(生徒数)としてはどうか。</p>															
				<p>○ 適正規模の考え方</p> <p>〈21世紀を展望した高知県立高等学校の在り方について(H12.11.27報告)より一部抜粋〉</p> <p>・H6報告では、「1学年6～8学級が望ましい」としたが、今後5年間を見通すと、生徒数の減少から中規模校においても6学級の編成が難しくなる可能性がある。</p> <p>現在、高等学校では、生徒の個性・能力や進路希望等の多様化に対応した学習習熟度別指導別の柔軟な学習集団の編成や総合学科・総合選択制等により弾力的な教育課程の編成が行われるようになってきた。このような方法を有効に活用すれば4学級規模であっても、個に応じた教育を行うことができ、6学級規模と同様の教育効果をあげることも期待できる。従って、現時点では1学年4～8学級が適正規模と考えられる。</p>															

※ 全日制・定時制課程には学年制や単位制がある。県立高等学校では定時制は単位制であるが、全日制は学年制が多い。

学年制：学年ごとに履修すべき科目等を履修し、きめられた単位数を修得した場合に次の学年に進むことができる。

単位制：学年による教育課程の区分を設けないため、原級留置(留年)の考えをとらない。一定期間(全日制では3年、定時制通信制では3年以上)在学し、必要な単位の修得などの条件を満たせば、卒業することができる。全日制の一部(室戸、城山、高知東(総合学科)、高知丸の内(普通科)、伊野商業、春野、高岡、大方、宿毛)と定時制・通信制が採用。

項目		現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																																																																																						
			適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																																																																																					
県立高等学校について	全日制課程について	<p>普通科系とは、普通科及び専門学科のうち産業系専門学科以外の学科（グローバル探究科、音楽科、理数科、グローバル科）を含む。</p> <p>○ 普通科：31校中20校（うち専門学科を併置している学校6校） 総合学科で普通科系の系列がある学校：4校 ・1年生の生徒数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>校名</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東部</td> <td>安芸</td> <td>普通</td> <td>120</td> <td>(114)</td> <td>(82)</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>嶺北</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北部</td> <td>吾北分校</td> <td>普通</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>城山</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">中部</td> <td rowspan="2">山田</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>(121)</td> <td>(89)</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>グローバル探究</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>岡豊</td> <td>普通</td> <td>320</td> <td>297</td> <td>274</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>高知追手前</td> <td>普通</td> <td>280</td> <td>255</td> <td>265</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知丸の内</td> <td>普通</td> <td>150</td> <td>149</td> <td>152</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知小津</td> <td>普通</td> <td>240</td> <td>221</td> <td>241</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>理数</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知国際</td> <td>普通</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>グローバル</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>高岡</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">高吾</td> <td>須崎総合(須崎)</td> <td>普通(総合学科)</td> <td>120</td> <td>(103)</td> <td>78</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>佐川</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>窪川</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>38</td> <td>27</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>構原</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>29</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>四万十</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幡多</td> <td>大方</td> <td>普通(昼間部・普通科)</td> <td>80</td> <td>(55)</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>中村</td> <td>普通</td> <td>200</td> <td>185</td> <td>166</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>西土佐分校</td> <td>普通</td> <td>40</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>清水</td> <td>普通</td> <td>80</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で普通科系の系列がある学校 室戸高校総合学科：文理総合系列、商工業・芸術系列 高知東高校総合学科：Advanced（文系）・（理系）、Global Communication Skill（国際教養）、Social Skill 文系（保育理美容調理福祉）・理系（医療看護）、Flexible Future（幅広い進路に対応） 春野高校総合学科：人文系列 宿毛高校総合学科：人文・自然系列、教養系列、芸術・スポーツ系列</p> <p>○ 普通科以外の学科の開設が可能となり、清水高校が学際領域に関する学科改編に向けて検討中</p> <p>○ 小規模校の1コース当たりの生徒数（2年次で選択するコースのみ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学級規模*</th> <th>学校数</th> <th>平均コース数</th> <th>1コース当たりの生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9</td> <td>2.8</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学級規模は実学級数で示している。</p> <p>● 生徒数減少に伴う普通科の在り方 ● 特色ある普通科改革の推進 ● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応 ● 各地域の資源を生かした、より特色のある学校の在り方</p>	地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸	普通	120	(114)	(82)	95	嶺北	普通	80	33	37	27	北部	吾北分校	普通	40	15	13	11	城山	普通	80	45	38	25	中部	山田	普通	80	(121)	(89)	61	グローバル探究	80			9	岡豊	普通	320	297	274	277	高知追手前	普通	280	255	265	234	高知丸の内	普通	150	149	152	147	音楽	30	22	18	12	高知小津	普通	240	221	241	228	理数	40	39	40	25	高知国際	普通	200			201	グローバル	80			75	高岡	普通	80	32	30	23	高吾	須崎総合(須崎)	普通(総合学科)	120	(103)	78	75	佐川	普通	80	48	34	37	窪川	普通	80	38	27	22	構原	普通	80	29	43	42	四万十	普通	80	23	28	25	幡多	大方	普通(昼間部・普通科)	80	(55)	37	36	中村	普通	200	185	166	168	西土佐分校	普通	40	14	12	8		清水	普通	80	42	41	22	学級規模*	学校数	平均コース数	1コース当たりの生徒数	1	9	2.8	8.4	2	1	3	14	<p>【適切配置】 ◇ 普通科系の配置について</p> <p>【適正規模】 ◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について</p> <p>【遠隔教育】 ◆ ICTは、単にコンテンツを配信するだけでなく、他校の生徒と切磋琢磨する環境が作れる。 ◆ ICTの普及により、小規模であっても教育効果をあげられる可能性は十分にあり、従来とは学校規模の考え方が変わってきて良い。</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について ・普通科の学科改編</p> <p>◇ 生徒の進路が多岐にわたる中で、地域や高等教育機関等と連携した取組や、魅力的な教育活動について</p> <p>◇ 地域資源を生かした探究的な学びやSTEAM教育等による学びの特色化について</p> <p>◇ 遠隔教育の効果的な活用方法について</p> <p>◇ 転・編入学への柔軟な対応について</p> <p>◇ 定時制や通信制との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>【地域等との連携】 ◆ 高校を地域と一緒にブランディングしていくことが必要。 ◆ 小中学校と地域を巻き込んだ活動が必要。 ◆ 普通科で広く勉強することがあまりメリットになっておらず、普通科の議論も非常に重要。 ◆ 多様性を認めるような新しい学校を創ってもらえたらという意見もある。</p> <p>【地域みらい留学等】 ◆ 少しずつ高知県をPRしながら、県外からの志願者を増やしてほしい。</p> <p>【取組の発信】 ◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。 ◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。</p> <p>【遠隔教育】 ◆ 子ども達と先生の繋がりを大事にしながら進んでいくと良い。</p> <p>◆ 普通科がより魅力的なものになるように学校の改革が必要ではないか。 ◆ 特に高知市以外で普通科が定員を満たせず、高知市に流れてしまっている。対応するためには、地域との繋がりを持った何か尖ったものがないといけない。 ◆ 中学生は普通科と総合学科の違いがはっきり分かっていない。高校に行けば何とかできるという感覚で選んでいるのではないか。</p>
			地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																																
			東部	安芸	普通	120	(114)	(82)	95																																																																																																																																																																
				嶺北	普通	80	33	37	27																																																																																																																																																																
			北部	吾北分校	普通	40	15	13	11																																																																																																																																																																
				城山	普通	80	45	38	25																																																																																																																																																																
			中部	山田	普通	80	(121)	(89)	61																																																																																																																																																																
					グローバル探究	80			9																																																																																																																																																																
				岡豊	普通	320	297	274	277																																																																																																																																																																
				高知追手前	普通	280	255	265	234																																																																																																																																																																
高知丸の内	普通	150		149	152	147																																																																																																																																																																			
	音楽	30		22	18	12																																																																																																																																																																			
高知小津	普通	240		221	241	228																																																																																																																																																																			
	理数	40		39	40	25																																																																																																																																																																			
高知国際	普通	200				201																																																																																																																																																																			
	グローバル	80				75																																																																																																																																																																			
高岡	普通	80	32	30	23																																																																																																																																																																				
高吾	須崎総合(須崎)	普通(総合学科)	120	(103)	78	75																																																																																																																																																																			
	佐川	普通	80	48	34	37																																																																																																																																																																			
	窪川	普通	80	38	27	22																																																																																																																																																																			
	構原	普通	80	29	43	42																																																																																																																																																																			
	四万十	普通	80	23	28	25																																																																																																																																																																			
幡多	大方	普通(昼間部・普通科)	80	(55)	37	36																																																																																																																																																																			
	中村	普通	200	185	166	168																																																																																																																																																																			
	西土佐分校	普通	40	14	12	8																																																																																																																																																																			
	清水	普通	80	42	41	22																																																																																																																																																																			
学級規模*	学校数	平均コース数	1コース当たりの生徒数																																																																																																																																																																						
1	9	2.8	8.4																																																																																																																																																																						
2	1	3	14																																																																																																																																																																						

項目		現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																													
			適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																												
県立高等学校について	全日制課程について	<p>産業系専門学科</p> <p>○ 産業系専門学科を設置している学校：11校 総合学科で産業系の系列がある学校：4校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>東部</th> <th>北部・中部</th> <th>高吾</th> <th>幡多</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業科</td> <td></td> <td>高知農業</td> <td></td> <td>幡多農業</td> </tr> <tr> <td>工業科</td> <td>安芸</td> <td>高知東工業、高知工業</td> <td>須崎総合</td> <td>宿毛工業</td> </tr> <tr> <td>商業科</td> <td>安芸</td> <td>山田、伊野商業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水産科</td> <td></td> <td>高知海洋</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護科</td> <td></td> <td>高知東</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>県立高等学校では、農業・工業・商業・水産・看護に関する学科を設置し、総合学科の系列に福祉系・家庭系を設置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【統合・学科改編】</p> <p>H29：須崎工業高校の4学科を3学科に学科改編 H30：安芸桜ヶ丘高校環境エネルギー科を募集停止 H31：須崎工業高校と須崎高校を、須崎総合高校に統合 R3：山田高校商業科をビジネス探究科に学科改編 R4：安芸桜ヶ丘高校環境建築科を機械土木科に、情報ビジネス科をビジネス科にそれぞれ学科改編 R5：安芸高校と安芸桜ヶ丘高校を、安芸高校に統合</p> </div> <p>農業科 2校 10学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生の生徒数（5月1日現在） <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>校名</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">北部・中部</td> <td rowspan="5">高知農業</td> <td>農業総合</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>畜産総合</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>33</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>森林総合</td> <td>40</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>環境土木</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>27</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>食品ビジネス</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>生活総合</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">幡多</td> <td rowspan="4">幡多農業</td> <td>園芸システム</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>アグリサイエンス</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>グリーン環境</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>生活コーディネート</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で農業系の系列がある学校：春野（園芸系列、食農系列） ※ 普通科のうち農業に関するコース等を設置している学校：吾北分校、嶺北、窪川、檜原、四万十</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学者の割合及び就職者の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>農業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合 (%)</td> <td>59.2</td> <td>61.1</td> <td>66.2</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合 (%)</td> <td>35.0</td> <td>36.0</td> <td>32.0</td> <td>24.6</td> </tr> </tbody> </table>		東部	北部・中部	高吾	幡多	農業科		高知農業		幡多農業	工業科	安芸	高知東工業、高知工業	須崎総合	宿毛工業	商業科	安芸	山田、伊野商業			水産科		高知海洋			看護科		高知東			地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知農業	農業総合	40	34	40	38	畜産総合	40	27	33	30	森林総合	40	18	20	14	環境土木	40	15	27	19	食品ビジネス	40	33	31	40			生活総合	40	30	35	38	幡多	幡多農業	園芸システム	40	36	28	18	アグリサイエンス	40	30	29	15	グリーン環境	40	20	19	15	生活コーディネート	40	37	30	22	農業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合 (%)	59.2	61.1	66.2	70.8	就職者の割合 (%)	35.0	36.0	32.0	24.6	<p>適正規模・適切配置</p> <p>【適切配置】 ◇ 各地域における産業系専門学科の配置について</p> <p>【適正規模】 ◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆ 高知海洋高校は、室戸岬水産高校、高岡高校宇佐分校、清水高校漁業科を統合し、県内唯一の水産高校となった経緯がある。高知県の産業を維持するためにも必要な役割を持っている。看護科も同様。</p> </div> <p>【現計画の適切な配置の考え方】 本県の産業を担う人材の育成及び産業振興のため、現状の学校の配置を維持することに努める。ただし、生徒数の減少等により、現在の配置が維持できない場合には、他の高等学校との統合による複数学科の併置も含め、県全体のバランスを考えた計画的な改編を実施する。 産業系高等学校の専門学科や普通科高等学校で産業系科目を設置しているコースにおいては、各校の活性化と教育内容の充実、適切な定員管理の実施に向けて、入学者数の状況や生徒のニーズ、産業構造の変化や就業形態の多様化などの社会環境の変化も見据えたうえで、随時、設置科やコースについての見直しを進める。</p>	<p>魅力化・特色化</p> <p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ 地域での役割、他の専門科との連携等について</p> <p>◇ 中学生や保護者等への魅力の発信について</p> <p>◇ 高等教育機関との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>◇ 産業界等のニーズについて</p> <p>【地域等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 県内の産業について興味を持ち、それを目指した子ども達の育成が必要。 ◆ 県内の産業の充実と日本語を母語としない生徒への支援等の取組が必要。
				東部	北部・中部	高吾	幡多																																																																																																									
農業科		高知農業		幡多農業																																																																																																												
工業科	安芸	高知東工業、高知工業	須崎総合	宿毛工業																																																																																																												
商業科	安芸	山田、伊野商業																																																																																																														
水産科		高知海洋																																																																																																														
看護科		高知東																																																																																																														
地域	校名	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																										
北部・中部	高知農業	農業総合	40	34	40	38																																																																																																										
		畜産総合	40	27	33	30																																																																																																										
		森林総合	40	18	20	14																																																																																																										
		環境土木	40	15	27	19																																																																																																										
		食品ビジネス	40	33	31	40																																																																																																										
		生活総合	40	30	35	38																																																																																																										
幡多	幡多農業	園芸システム	40	36	28	18																																																																																																										
		アグリサイエンス	40	30	29	15																																																																																																										
		グリーン環境	40	20	19	15																																																																																																										
		生活コーディネート	40	37	30	22																																																																																																										
農業科	R1	R2	R3	R4																																																																																																												
進学者の割合 (%)	59.2	61.1	66.2	70.8																																																																																																												
就職者の割合 (%)	35.0	36.0	32.0	24.6																																																																																																												

項目	現状と課題 (○:現状、●:課題)	検討項目 (◇:論点、◆:前回までのご意見)																																																																																																																																																																										
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																																																																																									
	<p>工業科 5校 19学科 12専攻</p> <p>・1年生の生徒数(5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>安芸 (安芸桜ヶ丘)</td> <td>機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)</td> <td>40</td> <td>(15)</td> <td>(6)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">北部・中部</td> <td rowspan="4">高知東工業</td> <td>機械</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械生産システム</td> <td>40</td> <td>22</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>電子</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>電子機械</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">高知工業</td> <td>機械</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>29</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>情報技術</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>工業化学</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>土木</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>建築</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高吾</td> <td rowspan="4">須崎総合</td> <td>機械系:機械専攻、造船専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>39</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>電気情報系:電気専攻、電子情報専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>31</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻</td> <td>40</td> <td></td> <td>22</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>機械:機械専攻、自動車専攻</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>20</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">幡多</td> <td rowspan="4">宿毛工業</td> <td>建設:土木専攻、建築専攻</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>40</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>情報技術</td> <td>40</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で工業系の系列がある学校:室戸(商工業・芸術系列)</p> <p>・進学者の割合及び就職者の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>35.2</td> <td>34.8</td> <td>36.8</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>59.1</td> <td>59.3</td> <td>58.0</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>商業科 3校 3学科</p> <p>・1年生の生徒数(5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>安芸(安芸桜ヶ丘)</td> <td>ビジネス(情報ビジネス)</td> <td>40</td> <td>(24)</td> <td>(14)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北部・中部</td> <td>山田</td> <td>ビジネス探究(商業)</td> <td>40</td> <td>(26)</td> <td>(19)</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>伊野商業</td> <td>キャリアビジネス</td> <td>160</td> <td>134</td> <td>112</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 総合学科で商業系の系列がある学校: 室戸(商工業・芸術系列)、高知東(Business Skill(情報系))、宿毛(商業系列)</p> <p>※ 普通科のうち商業に関するコース等を設置している学校: 城山、嶺北、岡豊、須崎総合、窪川、檜原、大方</p> <p>・進学者の割合及び就職者の割合(高知商業を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>商業科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>68.3</td> <td>71.5</td> <td>68.9</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>28.3</td> <td>24.9</td> <td>24.1</td> <td>16.1</td> </tr> </tbody> </table>	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸 (安芸桜ヶ丘)	機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)	40	(15)	(6)	10	北部・中部	高知東工業	機械	40	34	37	40	機械生産システム	40	22	9	12	電子	40	33	16	18	電子機械	40	35	18	20	高知工業	機械	40	39	37	39	電気	40	37	29	40	情報技術	40	40	40	36	工業化学	40	40	41	40	土木	40	40	40	40	建築	40	40	40	40	高吾	須崎総合	機械系:機械専攻、造船専攻	40		39	26	電気情報系:電気専攻、電子情報専攻	40		31	8	システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻	40		22	16	機械:機械専攻、自動車専攻	40	38	20	21	幡多	宿毛工業	建設:土木専攻、建築専攻	40	38	30	35	電気	40	19	20	6	情報技術	40	33	36	27							工業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	35.2	34.8	36.8	37.5	就職者の割合(%)	59.1	59.3	58.0	56.0	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	安芸(安芸桜ヶ丘)	ビジネス(情報ビジネス)	40	(24)	(14)	20	北部・中部	山田	ビジネス探究(商業)	40	(26)	(19)	27	伊野商業	キャリアビジネス	160	134	112	109	商業科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	68.3	71.5	68.9	81.7	就職者の割合(%)	28.3	24.9	24.1	16.1		
地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																																						
東部	安芸 (安芸桜ヶ丘)	機械土木:機械専攻、土木専攻 (環境建設:土木専攻、建築専攻)	40	(15)	(6)	10																																																																																																																																																																						
北部・中部	高知東工業	機械	40	34	37	40																																																																																																																																																																						
		機械生産システム	40	22	9	12																																																																																																																																																																						
		電子	40	33	16	18																																																																																																																																																																						
		電子機械	40	35	18	20																																																																																																																																																																						
	高知工業	機械	40	39	37	39																																																																																																																																																																						
		電気	40	37	29	40																																																																																																																																																																						
		情報技術	40	40	40	36																																																																																																																																																																						
		工業化学	40	40	41	40																																																																																																																																																																						
		土木	40	40	40	40																																																																																																																																																																						
		建築	40	40	40	40																																																																																																																																																																						
高吾	須崎総合	機械系:機械専攻、造船専攻	40		39	26																																																																																																																																																																						
		電気情報系:電気専攻、電子情報専攻	40		31	8																																																																																																																																																																						
		システム工学系:機械制御専攻、住環境専攻	40		22	16																																																																																																																																																																						
		機械:機械専攻、自動車専攻	40	38	20	21																																																																																																																																																																						
幡多	宿毛工業	建設:土木専攻、建築専攻	40	38	30	35																																																																																																																																																																						
		電気	40	19	20	6																																																																																																																																																																						
		情報技術	40	33	36	27																																																																																																																																																																						
工業科	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																								
進学者の割合(%)	35.2	34.8	36.8	37.5																																																																																																																																																																								
就職者の割合(%)	59.1	59.3	58.0	56.0																																																																																																																																																																								
地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																																																																																						
東部	安芸(安芸桜ヶ丘)	ビジネス(情報ビジネス)	40	(24)	(14)	20																																																																																																																																																																						
北部・中部	山田	ビジネス探究(商業)	40	(26)	(19)	27																																																																																																																																																																						
	伊野商業	キャリアビジネス	160	134	112	109																																																																																																																																																																						
商業科	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																								
進学者の割合(%)	68.3	71.5	68.9	81.7																																																																																																																																																																								
就職者の割合(%)	28.3	24.9	24.1	16.1																																																																																																																																																																								

項 目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化															
県立高等学校について	全日制課程について	産業系専門学科	水産科 1校1学科 ・1年生の生徒数(5月1日現在)																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学 校</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部・中部</td> <td>高知海洋</td> <td>海洋</td> <td>80</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					地域	学 校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知海洋	海洋	80	48	35	30		
			地域	学 校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5														
北部・中部	高知海洋	海洋	80	48	35	30																	
・進学者の割合及び就職者の割合																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>水産科</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学者の割合(%)</td> <td>28.3</td> <td>32.4</td> <td>30.3</td> <td>51.6</td> </tr> <tr> <td>就職者の割合(%)</td> <td>66.0</td> <td>55.9</td> <td>60.6</td> <td>29.0</td> </tr> </tbody> </table>					水産科	R1	R2	R3	R4	進学者の割合(%)	28.3	32.4	30.3	51.6	就職者の割合(%)	66.0	55.9	60.6	29.0				
水産科	R1	R2	R3	R4																			
進学者の割合(%)	28.3	32.4	30.3	51.6																			
就職者の割合(%)	66.0	55.9	60.6	29.0																			
看護科 1校1学科 ・1年生の生徒数(5月1日現在)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学 校</th> <th>学 科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部・中部</td> <td>高知東</td> <td>看護</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					地域	学 校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5	北部・中部	高知東	看護	30	30	22	30					
地域	学 校	学 科	R5 入学定員	H26	R1	R5																	
北部・中部	高知東	看護	30	30	22	30																	
・看護科は、看護専攻科(2年間)を合わせた5年一貫教育を行っている。																							
福祉系・家庭系 ※ 総合学科で福祉系・家庭系の系列がある学校： 室戸(生活福祉系列)、春野(生活クリエイト系列)、宿毛(保育・福祉系列) ※ 普通科のうち福祉・家庭に関するコースを設置している学校： 城山、岡豊、吾北分校、須崎総合、構原																							
<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒数減少に伴う専門学科の在り方 ● 生徒のニーズ、これからの社会を踏まえた専門学科改革への対応 ● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応 ● 県産業振興計画に基づいた産業系専門学科の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による県内担い手人材の育成 																							

項目			現状と課題 (○：現状、●：課題)				検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																															
							適正規模・適切配置	魅力化・特色化																														
県立高等学校について	全日制課程について	総合学科	○ 総合学科：4校（東部1校、中部2校、西部1校）				<p>【適切配置】</p> <p>◇ 各地域における総合学科の配置について</p> <p>【適正規模】</p> <p>◇ 現計画における適正規模・最低規模等の見直しの必要性について</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ 中学生や保護者等への魅力の発信について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>【取組の発信】</p> <p>◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。</p> <p>◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。</p>																														
			<p>・1年生の生徒数（5月1日現在）及び系列</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> <th>系列</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>室戸</td> <td>80</td> <td>52</td> <td>34</td> <td>49</td> <td>①文理総合、②商工業・芸術、③生活福祉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中部</td> <td>高知東</td> <td>200</td> <td>195</td> <td>195</td> <td>200</td> <td>①Advanced(文系) ②Advanced(理系) ③Business Skill(情報系) ④Global Communication Skill(国際教養) ⑤Social Skill 文系(保育理美容調理福祉) ⑥Social Skill 理系(医療看護) ⑦Flexible Future(幅広い進路に対応)</td> </tr> <tr> <td>春野</td> <td>160</td> <td>160</td> <td>121</td> <td>132</td> <td>①園芸、②食農、③生活クリエイト、④人文</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>宿毛</td> <td>120</td> <td>92</td> <td>86</td> <td>62</td> <td>①人文・自然、②教養、③保育・福祉、④商業、⑤芸術・スポーツ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【統合・学科改編等】</p> <p>H29：須崎高校の総合学科を普通科に学科改編 H31：須崎工業高校と須崎高校を、須崎総合高校に統合</p> <p>室戸高校</p> <p>地域からは多様な進路希望に応じた教育を選択することができる総合学科の取組に対する評価は高いことから、現計画期間中は総合学科を維持し、地域の特色を生かした教育プログラムの推進、更なる地元中学校との連携に取り組むこととする。</p> <p>● 総合学科はどのような内容で、どのような取り組みをしているのかが見えにくい</p> <p>● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応</p> <p>● 生徒数の減少に伴い、多くの系列を維持することが困難となる中での総合学科の在り方</p>						地域	学校	R5 入学定員	H26	R1	R5	系列	東部	室戸	80	52	34	49	①文理総合、②商工業・芸術、③生活福祉	中部	高知東	200	195	195	200	①Advanced(文系) ②Advanced(理系) ③Business Skill(情報系) ④Global Communication Skill(国際教養) ⑤Social Skill 文系(保育理美容調理福祉) ⑥Social Skill 理系(医療看護) ⑦Flexible Future(幅広い進路に対応)	春野	160	160	121	132	①園芸、②食農、③生活クリエイト、④人文	西部	宿毛	120
地域	学校	R5 入学定員	H26	R1	R5	系列																																
東部	室戸	80	52	34	49	①文理総合、②商工業・芸術、③生活福祉																																
中部	高知東	200	195	195	200	①Advanced(文系) ②Advanced(理系) ③Business Skill(情報系) ④Global Communication Skill(国際教養) ⑤Social Skill 文系(保育理美容調理福祉) ⑥Social Skill 理系(医療看護) ⑦Flexible Future(幅広い進路に対応)																																
	春野	160	160	121	132	①園芸、②食農、③生活クリエイト、④人文																																
西部	宿毛	120	92	86	62	①人文・自然、②教養、③保育・福祉、④商業、⑤芸術・スポーツ																																

※ 総合学科

- ・普通教育と専門教育の選択。生徒自身の興味・関心や進路の方向に沿った科目履修ができる。
- ・科目群としてまとめたものを系列という（人文系列、園芸系列等）。
- ・単位制による課程とすることが原則。
- ・「産業社会と人間」の科目を全ての生徒が履修する必要がある。

項目	現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																													
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																												
県立高等学校について 定時制課程について	<p>○ 定時制：12校（うち多部制（昼間部・夜間部）2校）</p> <p>・全校の在籍者数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">東部</td> <td rowspan="2">室戸</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>昼間部普通科</td> <td>40</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>中芸</td> <td>夜間部普通科</td> <td>40</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">中部</td> <td rowspan="2">山田</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>高知東工業</td> <td>機械科</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>27</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高知工業</td> <td>機械科</td> <td>40</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>電気科</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>土木科</td> <td>40</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高知北</td> <td>建築科</td> <td>40</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>昼間部普通科</td> <td>80</td> <td>245</td> <td>234</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高岡</td> <td>夜間部普通科</td> <td>40</td> <td>127</td> <td>64</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高吾</td> <td>須崎総合</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>佐川</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幡多</td> <td>大方</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>宿毛</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>16</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>清水</td> <td>普通科</td> <td>40</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	東部	室戸	普通科	40	12	16	8	昼間部普通科	40	57	48	35	中芸	夜間部普通科	40	11	18	20	中部	山田	普通科	40	41	20	22	高知東工業	機械科	40	36	27	12	高知工業	機械科	40	31	8	9	電気科	40	20	13	20	土木科	40	22	15	11	高知北	建築科	40	25	24	16	昼間部普通科	80	245	234	163	高岡	夜間部普通科	40	127	64	40	普通科	40	27	21	16	高吾	須崎総合	普通科	40	27	18	19	佐川	普通科	40	24	18	17	幡多	大方	普通科	40	25	10	13	宿毛	普通科	40	51	16	12	清水	普通科	40	17	15	8	<p>【適切配置】</p> <p>◇ 各地域における定時制高校の配置について</p> <p>◇ 通信制との連携について</p> <p>【適正規模】</p> <p>◇ 現計画における最低規模等の見直しの必要性について</p> <p>◆ 定時制と通信制とを組み合わせ、多様な学び（高度で専門的な学習、学び直し、ギフテッドや不登校生徒等への対応等）を提供できる学校が必要ではないか。</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ ICT 機器の効果的な活用方法と、遠隔教育の活用について</p> <p>◇ 学びたい時間を選ぶことのできる3部制等の導入の検討について</p> <p>◇ 転・編入学への柔軟な対応について</p> <p>◇ 通信制や全日制単位制との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）について</p> <p>【ICT活用等】</p> <p>◆ 定時制・通信制は、高校の学びの最後の砦であり大事である。</p> <p>◆ ICTを活用し、学びやすい環境をつくるべきである。</p> <p>◆ ICTの画面へ出るだけでも難しい子どももいる。単にICTで繋がるだけではなく、気持ちと気持ちが繋がる人と繋がっていききたい生徒もいる。</p> <p>【取組の発信】</p> <p>◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。</p> <p>◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。</p> <p>◆ ネガティブなイメージではなく、ポジティブに学べることをアピールしていくことが重要ではないか。</p> <p>◆ 働きながら学ぶという位置付けの転換や逆転の発想が必要ではないか。</p> <p>◆ 公立高等学校のシステムを見直し、生徒から選んでもらえるものにしていくことが必要ではないか。</p>
	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																								
	東部	室戸	普通科	40	12	16	8																																																																																																								
			昼間部普通科	40	57	48	35																																																																																																								
		中芸	夜間部普通科	40	11	18	20																																																																																																								
	中部	山田	普通科	40	41	20	22																																																																																																								
			高知東工業	機械科	40	36	27	12																																																																																																							
		高知工業	機械科	40	31	8	9																																																																																																								
			電気科	40	20	13	20																																																																																																								
			土木科	40	22	15	11																																																																																																								
高知北		建築科	40	25	24	16																																																																																																									
		昼間部普通科	80	245	234	163																																																																																																									
高岡	夜間部普通科	40	127	64	40																																																																																																										
	普通科	40	27	21	16																																																																																																										
高吾	須崎総合	普通科	40	27	18	19																																																																																																									
	佐川	普通科	40	24	18	17																																																																																																									
幡多	大方	普通科	40	25	10	13																																																																																																									
	宿毛	普通科	40	51	16	12																																																																																																									
	清水	普通科	40	17	15	8																																																																																																									
	<p>○ 現計画の最低規模の要件を満たしていない学校がある</p> <p>最低規模を下回る学校（夜間課程）：室戸、高知東工業、高岡、須崎総合、佐川、大方、宿毛、清水</p> <p>・本県定時制の最低規模に関する考え方</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H26 再編振興計画</td> <td>〈夜間の最低規模〉</td> <td> <p>・学校全体の生徒数 20人以上</p> <p>様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。</p> </td> </tr> <tr> <td>〈昼間の最低規模〉</td> <td> <p>・1学年1学級 20人以上</p> <p>不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。</p> </td> </tr> <tr> <td>H30 再編振興計画後期実施計画</td> <td colspan="2"> <p>規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。</p> <p>よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。</p> <p>なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。</p> <p>現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	H26 再編振興計画	〈夜間の最低規模〉	<p>・学校全体の生徒数 20人以上</p> <p>様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。</p>	〈昼間の最低規模〉	<p>・1学年1学級 20人以上</p> <p>不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。</p>	H30 再編振興計画後期実施計画	<p>規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。</p> <p>よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。</p> <p>なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。</p> <p>現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。</p>		<p>【現計画の適切な配置の考え方】</p> <p>定時制は、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒に柔軟に対応するため各地域での定時制課程の配置に努める。ただし、生徒数の減少に伴い統廃合を検討する場合には、学校の役割や地域の実態、学科の内容、通学手段も考慮した配置を検討する。多部制単位制は、生徒数の減少によって多部制の機能を十分に果たせない状況になった場合は、その在り方について見直しを検討する。</p>																																																																																																					
H26 再編振興計画	〈夜間の最低規模〉		<p>・学校全体の生徒数 20人以上</p> <p>様々な学びを保障するため、1学年1学級 10人程度以上から緩和し学校の維持に努める。</p>																																																																																																												
	〈昼間の最低規模〉	<p>・1学年1学級 20人以上</p> <p>不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟に対応できる支援体制の特徴を生かしながら、高等学校としての教育の質を保证するため。</p>																																																																																																													
H30 再編振興計画後期実施計画	<p>規模よりも、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴の生徒にとっての学びのセーフティネットとしての側面を重視する必要がある。</p> <p>よって、「学校全体の生徒数が20人以上」としている最低規模の基準については、望ましい数字ではあるが、この数にこだわることなく、地域にとって必要な定時制は、維持すべきである。</p> <p>なお、維持する手法として、ICTを活用した社会性の育成など、新たな学びの在り方について工夫する必要がある。</p> <p>現状、最低規模を下回っている定時制は複数あるが、大きく20名を下回っている学校はないことから、本計画期間中は、基本的に継続する。</p>																																																																																																														
	<p>○ 公立高等学校の定時制夜間部生徒の就労状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数（人）</td> <td>332</td> <td>320</td> <td>270</td> <td>259</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>有職生徒数（人）</td> <td>230</td> <td>192</td> <td>158</td> <td>144</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td>69.3</td> <td>60.0</td> <td>58.5</td> <td>55.6</td> <td>51.3</td> </tr> </tbody> </table>		R1	R2	R3	R4	R5	生徒数（人）	332	320	270	259	263	有職生徒数（人）	230	192	158	144	135	割合（％）	69.3	60.0	58.5	55.6	51.3																																																																																						
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																										
生徒数（人）	332	320	270	259	263																																																																																																										
有職生徒数（人）	230	192	158	144	135																																																																																																										
割合（％）	69.3	60.0	58.5	55.6	51.3																																																																																																										
	<p>● 生徒数減少に伴う定時制の在り方</p> <p>● 有職生徒数の割合が減少しており、生徒の学習ニーズが多様化している中での定時制の在り方</p>																																																																																																														

項目	現状と課題 (○：現状、●：課題)	検討項目 (◇：論点、◆：前回までのご意見)																																																																																																															
		適正規模・適切配置	魅力化・特色化																																																																																																														
県立高等学校について	<p>通信制課程について</p> <p>○ 通信制：2校（中部1校、幡多1校） 自学自習によるレポート・添削指導（郵送によるやり取り）、月数回程度のスクーリング（面接指導）、試験等により単位が認定される。 ・全校の在籍者数（5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>学校</th> <th>学科</th> <th>R5 入学定員</th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部</td> <td>高知北</td> <td>普通科</td> <td>200</td> <td>448</td> <td>350</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>幡多</td> <td>大方</td> <td>普通科</td> <td>100</td> <td>84</td> <td>77</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>※私立の通信制高校：1校（高知県に本校のある学校のみ）</p> <p>○ 全国的な通信制課程の需要の高まり ・全国の通信制課程に在籍している生徒数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>R1</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>71,180</td> <td>56,373</td> <td>57,437</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>112,574</td> <td>141,323</td> <td>207,537</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>183,754</td> <td>197,696</td> <td>264,974</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国の通信制課程の学校数（併置校は全日制・定時制の課程を併置している学校）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H26</th> <th colspan="3">R1</th> <th colspan="3">R5</th> </tr> <tr> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> <th>独立校</th> <th>併置校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>8</td> <td>69</td> <td>77</td> <td>7</td> <td>71</td> <td>78</td> <td>6</td> <td>72</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>90</td> <td>64</td> <td>154</td> <td>106</td> <td>69</td> <td>175</td> <td>125</td> <td>86</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98</td> <td>133</td> <td>231</td> <td>113</td> <td>140</td> <td>253</td> <td>131</td> <td>158</td> <td>289</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 公立高等学校の通信制生徒の就労状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数（人）</td> <td>427</td> <td>388</td> <td>359</td> <td>370</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>有職生徒数（人）</td> <td>217</td> <td>211</td> <td>175</td> <td>177</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td>50.8</td> <td>54.4</td> <td>48.7</td> <td>47.8</td> <td>49.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 全国的に通信制課程の需要の高まりがあるが、県立高等学校通信制の生徒は増えておらず、県内の生徒を十分に受け入れられていない可能性がある</p> <p>● 多様な学習ニーズを持つ生徒への対応</p>	地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5	中部	高知北	普通科	200	448	350	305	幡多	大方	普通科	100	84	77	77		H26	R1	R5	公立	71,180	56,373	57,437	私立	112,574	141,323	207,537	合計	183,754	197,696	264,974		H26			R1			R5			独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	公立	8	69	77	7	71	78	6	72	78	私立	90	64	154	106	69	175	125	86	211	合計	98	133	231	113	140	253	131	158	289		R1	R2	R3	R4	R5	生徒数（人）	427	388	359	370	382	有職生徒数（人）	217	211	175	177	190	割合（％）	50.8	54.4	48.7	47.8	49.7	<p>【適切配置】</p> <p>◇ 通信制の配置について</p> <p>◇ 定時制との連携について ・サテライト校設置等の検討</p> <p>◆ 定時制と通信制とを組み合わせ、多様な学び（高度で専門的な学習、学び直し、ギフトドや不登校生徒等への対応等）を提供できる学校が必要ではないか。</p> <p>【現計画の適切な配置の考え方】 通信制は、生徒のニーズに対応するため、現在の中央部と西部の2校の配置を維持するとともに、東部のニーズに対応するために通信制と定時制の併修の在り方を検討する。</p>	<p>◇ デジタル化、グローバル化などこれからの社会への対応について</p> <p>◇ ICT 機器の効果的な活用方法と、遠隔教育の通信制への活用について</p> <p>◇ 転・編入学への柔軟な対応について</p> <p>◇ 定時制や全日制単位制との連携について</p> <p>◇ 人種、国籍、障害等に関係なく高校に通える仕組みづくり（インクルーシブ教育）</p> <p>【ICT 活用等】</p> <p>◆ 定時制・通信制は、高校の学びの最後の砦であり大事である。</p> <p>◆ ICT を活用し、学びやすい環境をつくるべきである。</p> <p>◆ ICT の画面へ出るだけでも難しい子どももいる。単に ICT で繋がるだけではなく、気持ちと気持ちが繋がる人と繋がっていききたい生徒もいる。</p> <p>【取組の発信】</p> <p>◆ 高校の特色を明確にアピールし、保護者に地元の学校の良さを認識してもらうことが必要。</p> <p>◆ 日本語を母語としない生徒への支援や様々な取組の魅力化が必要。</p> <p>◆ ネガティブなイメージではなく、ポジティブに学ぶことをアピールしていくことが重要ではないか。</p> <p>◆ 働きながら学ぶという位置付けの転換や逆転の発想が必要ではないか。</p> <p>◆ 公立高等学校のシステムを見直し、生徒から選んでもらえるものにしていくことが必要ではないか。</p>
		地域	学校	学科	R5 入学定員	H26	R1	R5																																																																																																									
中部	高知北	普通科	200	448	350	305																																																																																																											
幡多	大方	普通科	100	84	77	77																																																																																																											
	H26	R1	R5																																																																																																														
公立	71,180	56,373	57,437																																																																																																														
私立	112,574	141,323	207,537																																																																																																														
合計	183,754	197,696	264,974																																																																																																														
	H26			R1			R5																																																																																																										
	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計	独立校	併置校	合計																																																																																																								
公立	8	69	77	7	71	78	6	72	78																																																																																																								
私立	90	64	154	106	69	175	125	86	211																																																																																																								
合計	98	133	231	113	140	253	131	158	289																																																																																																								
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																												
生徒数（人）	427	388	359	370	382																																																																																																												
有職生徒数（人）	217	211	175	177	190																																																																																																												
割合（％）	50.8	54.4	48.7	47.8	49.7																																																																																																												